

あきた労福協

2020年1月1日

No.132

発行所／秋田県労働福祉協議会
 発行責任者 高橋暢嘉
 秋田市中通6丁目7-36労館内
 TEL:018-833-1875・FAX:833-0506
 ホームページ <http://akita.rofuku.net/>

謹賀新年

誰もが安心して暮らせる社会を！



秋田県労働福祉協議会
黒崎保樹 会長

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、秋田労福協に対し、格別のご支援とご協力を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

昨年も、各地で突風や豪雨・増水等の自然災害が多発し甚大な被害をもたらしました。自然災害は、いつでもどこでも発生し私たち自らも遭遇しかねない、他人事ではないということを認識しなければなりません。一人ひとりの防災・減災意識の醸成、事前の心構えと被災した時に生活再建ができる補償の備えの必要性や、被災された方々への生活支援に資する災害救済融資の利用等を会員・組合員等に訴え・伝え、被災者や被災地に寄り添った様々な活動に取り組んで参りたいと思います。

さて、私たちの暮らす社会は、少子高齢化や人口減少、雇用形態の多様化等が急速に進展し、あらゆる世代・層で格差・貧困が拡大し社会保障制度の在り方が問われています。今後、変化のスピードはますます加速し、高齢化に伴う年金・医療・介護等の社会保障制度を持続可能とする取り組みや、“つながり・支え合う”地域コミュニティの充実に向けた対応がより重要になるものと思います。この様な中、中央労福協は昨年結成70周年を迎えて「2030年ビジョン」を策定しました。

これは、これまでの10年の活動の成果と課題や時代状況の変化も踏まえ、次の10年を展望し、『貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりを大切にし、平和で、安心して働き暮らせる持続可能な社会』をめざす社会像として掲げています。

秋田労福協は、その実現に向け、これまでの運動を礎に、事業団体、労働団体等と連携し、労働者自主福祉事業の役割と使命を發揮し積極的に運動を展開して参ります。皆様からもご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって希望に満ちた年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年明けまして
おめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかな令和の新春をお迎えの事と思われます。

今年の干支は「子（ネズミ）」。干支の最初となる“ネズミ”ですが、何事も一番先頭として良き一年を過ごしたいものです。

さて今年は東京でオリンピックが開催されます。上京するたびに、駅やあちこちで工事を見かけ準備が進んでいる様子がうかがえます。一生に何度も無いこの機会を、ぜひ見てみたいと思います。

中央労福協は「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会をめざします」と新たな理念を策定しました。本年は「ワン・チーム」として運動を展開してまいりますので、皆様のご理解、ご協力、宜しくお願い致します。

（事務局長）



迎春

労働者福祉中央協議会
神津 里季生 会長



恭賀新年

東北労働金庫秋田県本部
東海林 悟 本部長

新年明けましておめでとうございます。

中央労福協は昨年、結成70周年を迎え、11月の総会で「労福協の理念」と今後の活動の指針となる「2030年ビジョン」を決定しました。私たちは、これに基づき、すべての働く人の幸せと豊かさをめざし、連帯・協同の力で「安心・共生の福祉社会」を実現するための取り組みを進めていきます。

今こそ、貧困をなくし「誰ひとり取り残さない」包摂的で持続可能な社会をめざすSDGsの目標達成や、「助け合い・支え合い」を社会に根づかせていくために、私たちが真価を發揮する時です。労働運動と労働者福祉事業の「ともに運動する」関係を強化し、多様なセーフティネットや共助の輪を広げ、安心して働き暮らせる社会をつくりましょう。

これからも「福祉はひとつ」という労福協の原点を大切にし、それぞれの多様性を認め合いながら、様々なネットワークで「つながる運動」を広げ、ともに新しい社会や時代を切り拓いていきましょう！

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、東北労働金庫に対して格別なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝とお礼を申し上げます。

昨年は、大雨やたび重なる台風による自然災害が多く発し、各地に大きな傷跡を残しました。

被災地や被災者の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、昨年話題となった「老後2千万円不足問題」や「公的年金所得代替率の低下」など、老後生活への不安が拡大しました。労金は、勤労者の生活向上に資する取組みとして、生活応援運動を軸に資産形成や家計収支改善の取組みを会員と協働で推進しております。

働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関として、会員の皆さまの負託に応えるべく事業推進に取組んでまいります。

2020年が皆様にとりまして実り多い年になりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とします。

福祉団体へ 総額100万円を寄付しました！

～皆様のご支援が福祉団体の支援につながっています～

第32回チャリティゴルフ大会のチャリティ金贈呈式が12月13日（金）フォーラムアキタにて開催された。大会に参加した130名の参加費や当日設置したカンパ箱に寄せられたカンパ金と事業団体、労働団体、企業からのプログラム協賛広告をもとに、今年は昨年同様の福祉団体の他に、今回新たに生活困窮者へ食料支援を行っている団体「フードバンクあきた」を追加し、合わせて10団体

目録と大会記念タオル
を手渡す黒崎会長（右）



に寄付金を贈呈した。東日本大震災の復興支援活動にも昨年同様、寄贈する予定である。



「受験生の旅費等に活用したい。継続的な支援に感謝します」とお礼を述べるあしなが育英会

一贈呈先一

災害遺児愛護基金事業	あしなが育英会
秋田県障がい者スキー協会	やすらぎの家
共同作業所くだかけ寮	秋田いなほ会
自立支援センターほのぼの	子育て応援Seed
ライフサポートセンターあきた	フードバンクあきた



謹賀新春

こくみん共済 coop
秋田推進本部
羽澤 齊志 本部長

明けましておめでとうございます。

労福協に結集された各構成組織の皆さんにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年6月から活用を開始した新ブランド「こくみん共済 coop」も、徐々に浸透し皆さまからの認知・理解も進んできていると感じています。今後も、「New-Zetwork」がめざす姿を具体化するため、共済商品のいっそうの充実を図りながら、「お役立ち発想」と「共創活動」に基づくサービス提供を徹底し、「こくみん共済 coop」になって、「ここが変わった、良くなつた」という評価をたくさんいただけるよう、しっかりと取り組んでまいります。

本年も、「たすけあい」の心を大切にする信頼できる保障の生協として、皆さまの生活安定・向上に寄与できるよう、役職員一丸となって努力してまいりますので、変わらぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

新しい年が皆さんにとりまして実り多い一年になりますことをご祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。



新春来福

一般財団法人秋田県労働会館
渡辺 幸則 専務理事

新年あけましておめでとうございます。

構成組織の皆様におかれましては、おすそやかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年は秋田県労働会館「フォーラムアキタ」をご利用いただき誠にありがとうございます。今年は秋田県労働会館が、現在の建物となって37年を迎えます。より良いサービスの提供や維持管理などに努め、引き続き当館の利用拡大をすすめてまいります。

昨年10月秋田県労働会館の公益目的事業「ライフサポートセンターあきた」の「暮らしなんでも相談」の相談件数が3,000件を超えるました。構成団体をはじめご協力をいただいた関係各団体の皆様に感謝いたします。これからも相談者の心に寄り添い、活動を続けてまいります。

秋田県労働会館は今後もご利用いただく皆様にご満足いただきますよう、職員一同努力してまいりますので、本年もなお一層のお引き立てのほどお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとって佳き年でありますようにご祈念申し上げ、年頭のあいさつと致します。



北部労福協事務局が秋田労福協へ



新役員を代表して
黒崎保樹会長の挨拶

組みを進める」とこととした。

役員改選に伴い事務局が北海道労福協から秋田県労福協へ移り、黒崎保樹氏が会長に高橋暢嘉氏が事務局長に就任した。

～すべての働く人たちの幸せと豊かさをめざして～

北部労福協第55回定期総会が、12月9日（月）ホテルポールスター札幌において開催された。

議案の2019年度の活動報告および会計報告ならびに会計監査報告、2020年度活動方針、予算が確認された。

北部労福協は、「中央労福協の方針を基本に捉え活動を前進させるとともに東日本大震災からの復興・再生を最優先課題と位置づけ取り組みを進める」とこととした。



地区労福協紹介**鹿角地区労働福祉協議会****佐藤 大介 会長**

新年あけましておめでとうございます。

昨年、鹿角地区労福協は、地域の勤労者の福祉向上のため、労金・こくみん共済 coop とタイアップしての学習会の開催やパークゴルフを通して地域の交流を深めるなどの活動を行っております。2020 年においても、いっそう労働者の連帯を深める活動を展開してまいりたいと思っております。最後に、ここ数年にわたり自然災害が多発し、全国各地で多くの方が被災されております。被災された方に対し心からお見舞い申し上げると共に労働者の連帯により被災者に寄り添って共に乗り越えていくことをお誓いし、新年のあいさつとさせていただきます。



8月22日(木)第36回総会を開催

大館地区労働福祉協議会 山内 一滋 会長

令和最初の正月を迎ました。2020 年新年明けましておめでとうございます。

まずは、昨年も全国各地で自然災害が発生し、台風豪雨で多くの河川において堤防が決壊し氾濫する映像は記憶に新しく、あらためて亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、今なお避難生活を強いられている皆さんに心からお見舞い申し上げます。

このような状況になればなるほど、組合員や働く人々の暮らしの安全・安心を守り、寄り添う労働者福祉がより重要であり、最も身近にある拠り所として労働者福祉運動がその存在感を高めていくこととなります。大館地区労福協としては、まず「秋田労福協 ライフプランセミナー」の大館地区開催を成功裡に終わらせることを優先し活動を進めてまいりたいと思います。

2020 年が皆様にとって実り多き年であり、そして災害の少ない年になることをご祈念し、新年を迎えての挨拶といたします。

男鹿潟上南秋地区労働福祉協議会 太田 修 会長

新年、明けまして、おめでとうございます。

昨年は、新元号が令和になり、新しい時代を迎えました。

新天皇の即位など明るい話題もありましたが、一方 8 月は九州北部豪雨、9 月は台風 15 号、台風 19 号の関東直撃など、自然災害が甚大な被害を及ぼし、避難にあたり『命を守る行動を』の呼びかけが、心に残る 1 年でした。



8月23日(金)第21回定期総会を開催

自然災害をなくす事は出来ませんが労福協は、労働金庫、こくみん共済 coop の災害に対する充実した共済を提供し、その後の生活サポートが出来ます。

今まで以上に、労働者自主福祉運動を展開して参りますので、本年も男鹿潟上南秋地区労福協の運動に、引き続きのご支援を宜しくお願ひ申し上げます。

能代山本地区労働福祉協議会 安田 真人 会長

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、能代山本地区労働福祉協議会の活動に対し、ご支援ご協力いただき、心より御礼申し上げます。

昨年も豪雨、台風などの自然災害が、全国各地に大きな被害をもたらした年となりました。被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。災害への備えや、格差や貧困、将来に向けての不安定感が強まる中での社会の様々な課題に対し、地区労福協運動の輪を広げ、労福事業団体と連携を深め、組合員が安心して働き、ご家族の皆さんのが安心して暮らせるように努めてまいります。今年も、どうぞよろしくお願ひ致します。



8月22日(水)第14回定期総会を開催

秋田地区労働福祉協議会 水木 卓 会長

謹んで新春の祝詞を申し上げます。

旧年中は、秋田地区労福協の活動にあたり、皆様より温かいお力添えをいただきましたこと、心から感謝いたします。

地区労福協の活動は、地域における相互扶助の推進や地域コミュニティの機能強化など安全・安心な地域社会づくりにおいて重要な役割を担っています。その役割を十分に發揮するためには、組織の活性化が不可欠です。多くの皆様から本会の取り組みに参加いただきながら、会員同士の信頼関係をより強く築きながら、元気な組織づくりを心がけて参りたいと思います。引き続き皆様からご支援とご協力をくださいますようお願いいたします。



7月16日(火)第21回定期総会を開催

本荘由利地区労働福祉協議会 猪股 修 会長

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年を振り返れば、自然災害が猛威を振るった一年でした。

温暖化との関連も指摘されています。あらためて、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

労福協は、被災者の生活再建に向けた活動にも微力ながら取り組んでいます。一人ひとりが助け合い・支え合う共助の活動はますます必要になっています。誰も孤立しない、誰もが安心して生活できる社会を目指して2020年も活動して参ります。ご指導をお願いいたします。



9月7日(土)クリーンアップ開催
35名参加(本荘公園周辺)

大曲仙北地区労働福祉協議会 岩佐 真 会長

新年明けましておめでとうございます。

2019年は新しい元号「令和」がはじめました。英訳すると「令和」は「Beautiful Harmony (美しい調和)」との意味だそうで、労働組合や協同組合の持つ意義と関連性があるといえるのではないでしょうか。「助け合い」「支えあい」の精神で原点である「労働者自主福祉運動」の前進が図られるよう、運動を推進していきます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

横手平鹿地区労働福祉協議会 齊藤 斎 会長

明けましておめでとうございます。

皆様、年末年始はいかがお過ごしでしょうか。

さて、ここ十数年間の間、東日本大震災から熊本地震をはじめ、風水害を含めた自然災害が多発しております。私たちは改めて、今住んでいる日本は災害列島であることを認識して、災害への備えと支援活動を通して、支え合い助け合いながら、こういった気象変動への取り組みを強化して行かなければならぬと思います。いざという時の備えや災害リスクを最小限に止めるために、労福協は関係団体と連携し、啓発活動、自然災害共済等々への加入促進を進めて参ります。



湯沢雄勝地区労働福祉協議会 鈴木 智史 会長

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、私たちを取り巻く生活環境は、日々変化をし、少子高齢化・人口減少に加え、行き過ぎた市場の経済による雇用問題や格差社会の進展が、まだまだ広がりを見せております。こう言った問題に対し、労働者自主福祉運動の役割はますます

高まっておりますし、ここ地域では様々な課題や悩みを抱えている方々が、沢山存在しております。

そういった方々へ、労働者福祉事業団体・協同組合などとネットワークを組んで、働く人たちの福祉の向上にむけ取り組んでまいります。

中央労福協結成70周年記念・中央労福協第64回定期総会

2030年にめざす社会像

貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働きくらせる持続可能な社会

中央労福協は11月28日、東京都内ホテルラングウッドにおいて70周年記念レセプションを開催した。

1949年8月30日、労働組合と生協が組織の枠を超えて「福祉はひとつ」で結集するところから生まれ、運動を積み重ねてきた。今回の記念事業の一環として中央および地方で労福協運動に貢献された方々を対象に表彰を行った。

翌日の29日、同会場にて第64回定期総会を開催し、2020年～2021年度の活動方針を決定した。

主催者を代表して中央労福協神津会長は、今総会は「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります」を労福協の理念として改めて確認し、今後の活動の指針となる新たなビジョン「2030年ビジョン」を策定し、このビジョンを日々の実践の糧として次の10年を切り拓く活動に向けて、確実な一歩を踏み出していくと呼びかけた。



中央労福協
神津 里季生 会長



「もったいない」から「ありがとう」へあなたができる食料支援

「リコーは社会課題の解決に貢献する新たな価値創造に挑戦し、SDGsの達成に積極的に取組んでいます。」
～「リコージャパン女子会+プラス」・フードバンク活動開始～



「女子会+（プラス）」

「女子会」の活動の一つとしてフードバンク活動を始めました。ポスターやフードB o xを設置して食品を集め、定期的に「フードバンクあきた」へ届けています。家族参観（社員交流）の際にも、皆さんに呼びかけています。



子ども食堂の支援を通じて誰も取りこぼさない社会をつくる！ ～秋田たすけあいネットあゆむ～

貧困世帯への食糧支援や無償の学習塾などを手がける秋田市のNPO法人秋田たすけあいネットあゆむが、「子ども食堂」を12月7日（土）アルヴェにて開催した。大人300円、子どもには無料で食事を提供。誰でも気軽に



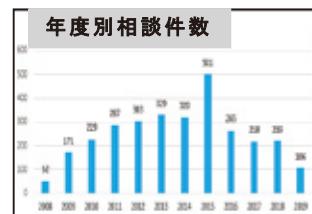
参加が出来る子ども食堂には、子どもや家族連れなど140名が集まった。当日は、「食べる・遊ぶ・笑うこと」も食堂をテーマに掲げ、食後は東京おもちゃ美術館のおもちゃで遊ぶ子どもやスノードームづくりに夢中になる子、スタッフとのゲームで、はしゃぐなど楽しいひとときを過ごした。



秋田労福協は、生活困窮者への支援としてフードドライブ活動を行っている。この活動には皆様のご理解とご協力により多くの食料品の支援をいただいている。この集められた食料品は、「フードバンクあきた」と「秋田たすけあいネットあゆむ」の2団体に寄贈している。

「相談3,000件の記録」 2008年12月～2019年10月

どこからでも無料で様々な相談を受けている「ライフサポートセンターあきた」は、設立から10年を迎えた本年の10月上旬に3,000件を超える、「相談3,000件の記録」をまとめた冊子を作成した。10年間で最も相談件数が多かったのは2015年度での「心の悩み」に関する相談が多く500件を超えた。それ以降は年々減少しているが、毎年200件を超える相談が寄せられている。



ライフサポートセンターあきた
0120-980-669 (労働会館フォーラムアキタ)
〒010-0001 秋田市中通6丁目7-36 / E-mail : akita-lsc@rofuku.net

相談アドバイザー 中村氏に まずはお気軽にお電話ください！

お知らせ

「2020年度労働者福祉に関する政策制度要請」を県へ

日 時 1月23日(木) 11時～11時30分
場 所 県庁第二庁舎産業労働部長室



第4回フードドライブ活動

日 時 2月10日(月)～2月21日(金)
問合せ 秋田県労働福祉協議会 ☎ 018-833-1875

「もったいない」から「ありがとう」へあなたができる食糧支援にご協力を！

税務署確定申告の相談及び申告受付

期 間 2月17日(月)～3月16日(月)
会 場 労働会館(フォーラムアキタ)
☎ 018-833-2235

変りました秋田県の最低賃金！

2019年10月1日～

1時間あたり 790円

去年、新天皇の即位により五月一日から元号が「令和」に切り替わった。令和に込められた意味は、「明日への希望と共に日本人一人ひとりが大きな花を咲かせる」ことにあるという。昨年の漢字一文字には令和の「令」が選ばれた。新元号の「令和」に「明るい時代を願う国民の思い」が集約されたものであるという。「新」に続き「和」が三位に選ばれている。

二〇一五年の国連サミットにおいて「持続可能な開発目標(SDGs)」が定められた。十七の目標と一六九のターゲットは、二〇三〇年までの十五年間で国連加盟一九三か国が達成するために掲げた目標となっている。

秋田労福協としても「誰一人として取り残さない社会」を築き上げるために、引き続き活動に奮闘していきたい。(J.I.)

月一日から元号が「令和」に切り替わった。令和に込められた意味は、「明日への希望と共に日本人一人ひとりが大きな花を咲かせる」ことにあるという。昨年の漢字一文字には令和の「令」が選ばれた。新元号の「令和」に「明るい時代を願う国民の思い」が集約されたものであるという。「新」に続き「和」が三位に選ばれている。

二〇一五年の国連サミットにおいて「持続可能な開発目標(SDGs)」が定められた。十七の目標と一六九のターゲットは、二〇三〇年までの十五年間で国連加盟一九三か国が達成するために掲げた目標となっている。

秋田労福協としても「誰一人として取り残さない社会」を築き上げるために、引き続き活動に奮闘していきたい。(J.I.)

編集後記

**謹んで新春の
お慶びを申し上げます**



会員・組合員の皆様には、日頃より東北労働金庫に対し、ご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

社会・経済情勢が大きく変化する中で組合員の働き方やライフスタイルの多様化が進んでいます。こうした時代だからこそ、ろうきんは労働組合との連帯をさらに強固にし最も身近で信頼される金融機関として組合員のみなさまに寄り添い生涯にわたり力強くサポートしてまいります。

本年も、昨年同様変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げ、新年のご挨拶をいたします。

二〇二〇年 元旦

東北労働金庫秋田県本部
秋田市山王4-4-13 ☎018(866)1315

 0519A012
カーライフを応援する、頼れる補償
マイカー共済
自動車総合補償共済

安心のサポートと充実の補償
カーライフをしっかりと守ります。
店頭・電話・インターネットから
お気軽にお問い合わせください。
お見積りは無料です。

おすすめ安心タイプ

ご自身のけがの場合 傷害補償 最高5,000万円 (被共済者1名につき)	相手へのけがの賠償 対人賠償 無制限 (被害者1名につき)	相手への車や物の賠償 対物賠償 無制限 (1事故につき)	お車の補償 衝突や火災台風雪難などの損害を補償 車両賠償補償 一般補償
--	---	--	--

24時間365日
事故対応
安心サポート!

全国76カ所、約800名の
スタッフがスタンバイ!
万一の事故も24時間365日対応。面
談があればスタッフが現場へ駆けつけ
てサポートします。*

トラブル対応
30分以内の
路上クイックサービスが無料
レッカーサービスによる運送や、バッテリー上がり、燃料切れ
等に対応する各種サービスをご提供します。**

修理対応
全国約1,400カ所の
指定整備工場
事故時の修理から各種整備や車検も、料金相場でご提供する
指定整備工場をご利用いただけます。

*1サービスの運用には条件があります。詳しくはこくみん共済 coopまでお問い合わせください。
**1サービスの運用には条件があります。詳しくはこくみん共済 coopまでお問い合わせください。

お問い合わせ・お見積もりは下記ご連絡先まで

秋田推進本部 (秋田県労働者共済生活協同組合)

共済ショップ秋田店 018-824-6031
〒010-0817秋田市泉菅野1-1-12
※番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

受付時間
平 日 9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く)
土曜日 10:00~16:00(祝日・年末年始を除く)
※土曜日は秋田店のみ営業。

お近くの共済ショップまでお気軽にご連絡ください。 共済ショップ大館店 0186-49-2877
共済ショップ能代店 0185-55-3931 共済ショップ大仙店 0187-63-8428

こくみん共済〈全労済〉
全国労働者共済生活協同組合連合会 COOP

たすけあいから生まれた保障の生協です。
こくみん共済 coop は営利目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨にご賛同いただき出資金を払い込んで、居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。